

エピソードによる評価について

■ 目 次 ■

- 1) エピソードによる評価手法の検討経緯 1

- 2) キャナルフライデー 2

- 3) あなたとなにかがヨガする日 6

- 4) 森の自由研究フェス 10

1) エピソードによる評価手法の検討経緯

(平成30年度第2回尼崎21世紀の森づくり協議会資料より抜粋)

尼崎21世紀の森づくりの取組方針や事業の評価手法などについて示されている、「尼崎21世紀の森づくり行動計画」には、「活動の主体となる市民、企業・団体等のエピソードや意見をできるだけ集約・分析することを通じて、より多角的な評価に努めること」が明記されている。

これを受け尼崎21世紀の森づくり協議会では、平成29年度から多角的評価手法の1つとしてエピソードによる評価について検討を進めてきた。

エピソードによる評価は、イベント参加者からアンケート(アクティビティシート)を記入してもらい、その回答により4つの取組方針のうち、どの方針に寄与しているか分析するものである。

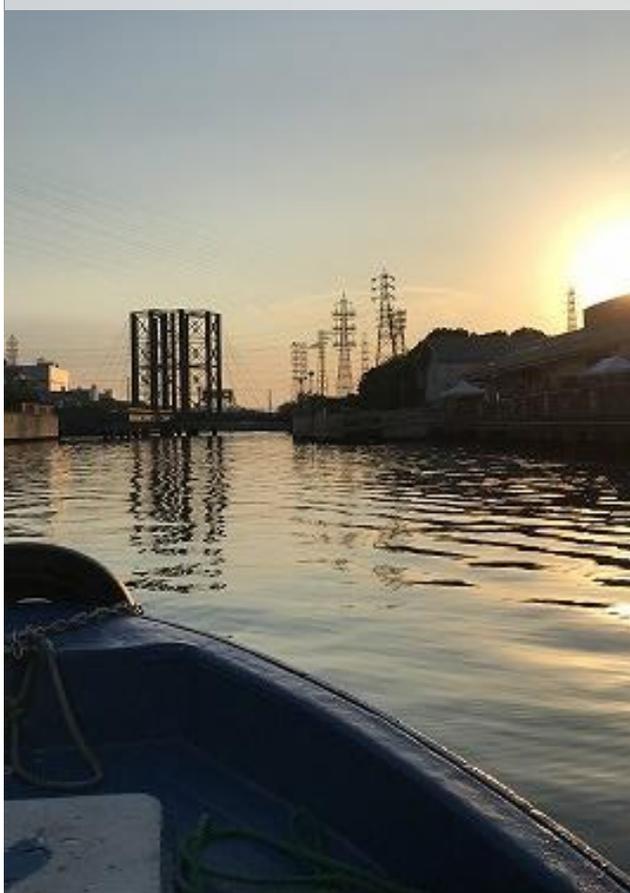
表1 エピソード評価に用いるアクティビティと評価指標の関係

尼崎21世紀の森づくり行動計画の4つの取組方針	身体性/関係性	評価指標	アクティビティ (森の感想シート、森の期待シート)
1.環境の回復・創造、美しい風景の創出に向けた取組	身体性	みどり(森)や水辺(運河、海)を感じる	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥や虫の声を聞いた ・海のかおりがした ・みどり(森)や水辺(運河、海)の風景をゆっくり眺めた
	身体性	体を動かせる	<ul style="list-style-type: none"> ・思いきりからだを動かして汗をかいた ・遊んでいる子ども達の声を聞いた ・散歩やウォーキングをしている人を見た
2.活力ある都市の再生に向けた取組	身体性	にぎわいを感じる	<ul style="list-style-type: none"> ・演奏やパフォーマンスをしている人を見た ・おそとでご飯を食べた ・にぎやかさを心地よく感じた
	関係性	非日常がある	<ul style="list-style-type: none"> ・自分だけの時間を楽しんだ ・いっしょに手をたたいたり、おどったりした ・食事やショッピングにお金を使った
3.既存産業の育成・高度化と新産業の創造に向けた取組	身体性	尼崎らしさを感じる	<ul style="list-style-type: none"> ・尼崎にしかないものを見つけた ・見たことのない景色を見た ・尼崎で働いている人としゃべった
	関係性	工業都市を感じる	<ul style="list-style-type: none"> ・どんな会社があるのかわかった ・どんなものがつくられているのかわかった ・くらしや環境に結びつく技術を知った
4.多様な主体による推進に向けた取組	関係性	居場所やコミュニティがある	<ul style="list-style-type: none"> ・ともだちができた ・知り合いに出会った ・知らない人と話した
	関係性	様々なチャレンジにつながる機会がある	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の得意なことを披露できた ・まちのプロに何かを教えてもらった ・ほめられたり共感されてうれしかった

2) キャナルフライデー（主催者と参加者との回答結果の比較）

試行日	5月24日(金)		
場所	北堀運河・キャナルベ ース周辺	参加人数	300人
「森の感想シート」 回答者数	42人	「森の期待シ ート」記入者数	9名 キャナルフライデーパートナーズ
主催	キャナルフライデーパートナーズ		

クルーズ船から見る運河の夕焼け



日が暮れると企業の従業員が現れ、ビール飲み始める



運河をバックに歌うカラオケは大好評で、順番待ちの状態



落ち着いた運河の雰囲気を生み出すライブ演奏



イベントを通じて夜の運河の楽しみ方をPRできた



1. 表2 参加者におけるアクティビティの点数等の内訳(チャンネルフライデー)

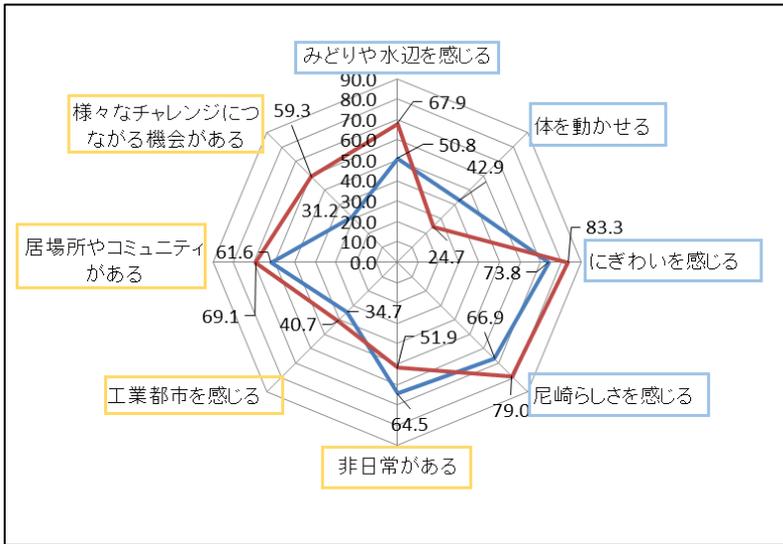
評価指標		割合(%)	合計点数	アクティビティ	点数
身体性	みどり(森)や水辺(運河、海)を感じる	50.8	192	・鳥や虫の声を聞いた	29
				・海のかおりがした	68
				・みどりや水辺の風景をゆっくり眺めた	95
	体を動かせる	42.9	162	・思いきりからだを動かして汗をかいた	24
				・遊んでいる子どもの声を聞いた	66
				・散歩やウォーキングをしている人を見た	72
	にぎわいを感じる	73.8	279	・演奏やパフォーマンスを見た	109
				・おそとでごはんを食べた	97
				・にぎやかさを心地よく感じた	99
	尼崎らしさを感じる	66.9	253	・酔っぱらった	67
				・尼崎にしかないものを見つけた	87
				・見たことのない景色を見た	82
関係性	非日常がある	67.5	243.75	・尼崎で働いている人としゃべった	84
				・自分だけの時間を楽しんだ	76
				・いっしょに手をたたいたり、おどったりした	84
				・食事やショッピングにお金を使った	87
	工業都市を感じる	34.7	131	・ロマンチックを感じた	78
				・どんな会社があるのかわかった	53
				・どんなものが作られているのかわかった	38
	居場所やコミュニティがある	61.6	223	・くらしや環境にかかわる技術を知った	40
				・ともだちができた	61
				・知り合いに出会った	88
	様々なチャレンジにつながる機会がある	31.2	118	・知らない人と話した	74
				・自分の得意なことを披露できた	32
・まちのプロに何かを教えてもらった				39	
・ほめられたり共感されてうれしかった				47	

表3 主催者におけるアクティビティの点数等の内訳(チャンネルフライデー)

評価指標		割合(%)	合計点数	アクティビティ	点数
身体性	みどり(森)や水辺(運河、海)を感じる	67.9	55	・鳥や虫の声を聞いた	11
				・海のかおりがした	20
				・みどりや水辺の風景をゆっくり眺めた	24
	体を動かせる	24.7	20	・思いきりからだを動かして汗をかいた	3
				・遊んでいる子どもの声を聞いた	2
				・散歩やウォーキングをしている人を見た	15
	にぎわいを感じる	83.3	67.5	・演奏やパフォーマンスを見た	24
				・おそとでごはんを食べた	22
				・にぎやかさを心地よく感じた	24
	尼崎らしさを感じる	79.0	64	・酔っぱらった	20
				・尼崎にしかないものを見つけた	20
				・見たことのない景色を見た	24
関係性	非日常がある	51.9	42	・尼崎で働いている人としゃべった	20
				・自分だけの時間を楽しんだ	9
				・いっしょに手をたたいたり、おどったりした	18
				・食事やショッピングにお金を使った	13
	専門性・革新性がある	40.7	33	・ロマンチックを感じた	16
				・どんな会社があるのかわかった	16
				・どんなものが作られているのかわかった	10
	居場所やコミュニティがある	69.1	56	・くらしや環境にかかわる技術を知った	7
				・ともだちができた	17
				・知り合いに出会った	19
	機会がある	59.3	48	・知らない人と話した	20
				・自分の得意なことを披露できた	18
・まちのプロに何かを教えてもらった				14	
・ほめられたり共感されてうれしかった	16				



表4 比較結果内訳【%】
(チャンネルフライデー)



評価指標	参加者	主催者
みどりや水辺を感じる	50.8	67.9
体を動かせる	42.9	24.7
にぎわいを感じる	73.8	83.3

図1 身体性・関係性の評価指標における主催者と参加者との比較結果【%】(チャンネルフライデー)

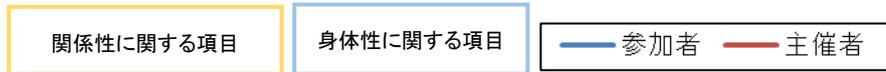
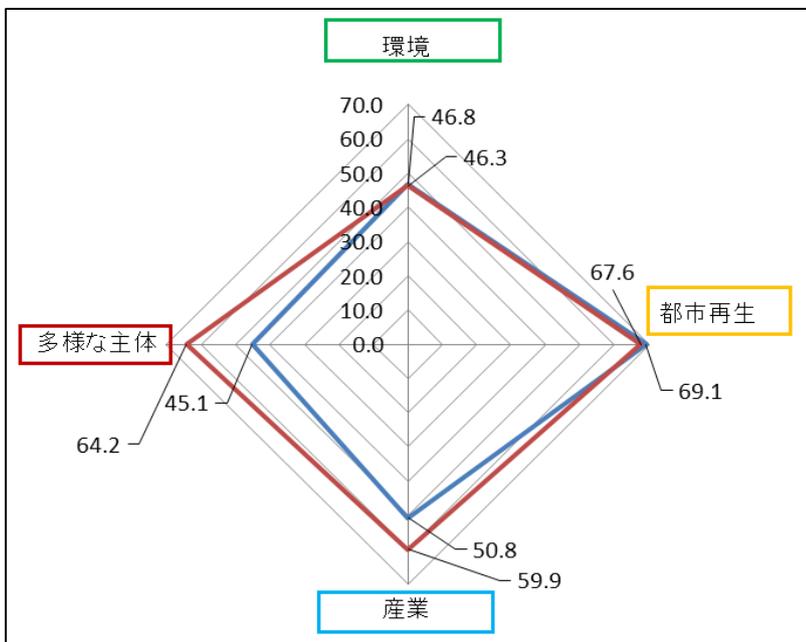


表5 比較結果内訳【%】
(チャンネルフライデー)



評価指標	参加者	主催者
環境	46.8	46.3
都市再生	69.1	67.6
産業	50.8	59.9
多様な主体	64.2	45.1

図2 尼崎 21世紀の森づくり行動計画の取組方針における主催者と参加者との比較結果【%】(チャンネルフライデー)

主催者による評価と改善点

【評価】

- ・主催者が参加者に感じて欲しい項目と参加者が感じた項目が概ね一致していることから、イベントのねらいや趣旨が伝わったものとする。
- ・「体をうごかせる」、「非日常がある」の参加者の評価が上回っていることは、カラオケの導入や飲食を提供することで、夜の運河楽しみ方十分に提供できたものと評価できる。
- ・「様々なチャレンジにつながる機会がある」について参加者はさほど感じていないことから、現段階では企画の充実等は必要ないかもしれない。

【改善点】

- ・にぎわいを感じる部分について、滞在時間を増やすしかけを検討したい。また尼崎らしさを感じる部分については、周辺の企業の従業員にもっと参加してもらうことでその評価のアップを目指したい。

3) あなたとなにかがヨガする日（主催者と参加者との回答結果の比較）

試行日	6月16日(日)		
場所	尼崎の森中央緑地	参加人数	2,000人
「森の感想シート」回答者数	58人	「森の期待シート」記入者数	3名:あなたとなにかがヨガする日実行委員会
主催	あなたと何かがヨガする日実行委員会	共催	一般財団法人日本ヨガのめぐみ協会

参加者全員でツルのポーズ



剪定枝で作ったオブジェ



協賛企業のミネラルウォーターを提供



おやこヨガ



笑いヨガ



トランポリンヨガ



表6 参加者におけるアクティビティの点数等の内訳(あなたとなにかがヨガする日)

評価指標		割合(%)	合計点数	アクティビティ	点数
身体性	みどり(森)や水辺(運河、海)を感じる	47.5	248	・鳥や虫の声を聞いた	48
				・海のかおりがした	71
				・みどりや水辺の風景をゆっくり眺めた	129
	体を動かせる	69.0	360	・思いきりからだを動かして汗をかいた	92
				・遊んでいる子どもの声を聞いた	158
				・散歩やウォーキングをしている人を見た	110
	にぎわいを感じる	80.8	422	・演奏やパフォーマンスを見た	137
				・おそとでごはんを食べた	145
				・にぎやかさを心地よく感じた	140
	尼崎らしさを感じる	42.1	220	・尼崎にしかないものを見つけた	68
				・見たことのない景色を見た	79
				・尼崎で働いている人としゃべった	73
関係性	非日常がある	49.8	260	・自分だけの時間を楽しんだ	88
				・いっしょに手をたたいたり、おどったりした	71
				・食事やショッピングにお金を使った	101
	工業都市を感じる	20.5	107	・どんな会社があるのかわかった	36
				・どんなものが作られているのかわかった	44
				・くらしや環境にかかわる技術を知った	27
	居場所やコミュニティがある	32.6	170	・ともだちができた	27
				・知り合いに出会った	83
				・知らない人と話した	60
	様々なチャレンジにつながる機会がある	24.3	127	・自分の得意なことを披露できた	30
				・まちのプロに何かを教えてもらった	49
				・ほめられたり共感されてうれしかった	48

表7 主催者におけるアクティビティの点数等の内訳(あなたとなにかがヨガする日)

評価指標		割合(%)	合計点数	アクティビティ	点数
身体性	みどり(森)や水辺(運河、海)を感じる	81.5	22	・鳥や虫の声を聞いた	8
				・海のかおりがした	6
				・みどりや水辺の風景をゆっくり眺めた	8
	体を動かせる	81.5	22	・思いきりからだを動かして汗をかいた	8
				・遊んでいる子どもの声を聞いた	9
				・散歩やウォーキングをしている人を見た	5
	にぎわいを感じる	81.5	22	・演奏やパフォーマンスを見た	5
				・おそとでごはんを食べた	9
				・にぎやかさを心地よく感じた	8
	尼崎らしさを感じる	85.2	23	・尼崎にしかないものを見つけた	8
				・見たことのない景色を見た	8
				・尼崎で働いている人としゃべった	7
関係性	非日常がある	77.8	21	・自分だけの時間を楽しんだ	7
				・いっしょに手をたたいたり、おどったりした	7
				・食事やショッピングにお金を使った	7
	専門性・革新性がある	44.4	12	・どんな会社があるのかわかった	4
				・どんなものが作られているのかわかった	4
				・くらしや環境にかかわる技術を知った	4
	居場所やコミュニティがある	85.2	23	・ともだちができた	7
				・知り合いに出会った	8
				・知らない人と話した	8
	機会がある	77.8	21	・自分の得意なことを披露できた	5
				・まちのプロに何かを教えてもらった	8
				・ほめられたり共感されてうれしかった	8

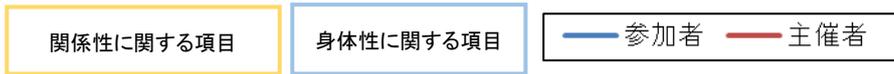
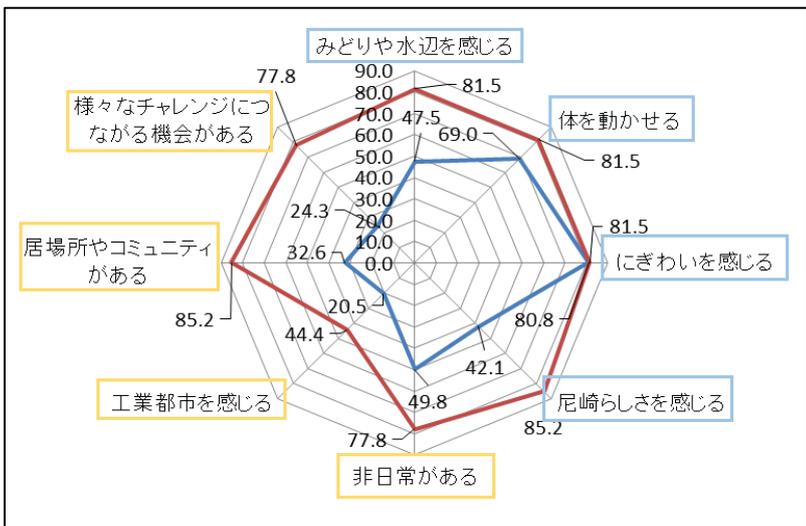


表8 比較結果内訳【%】
(あなたとなにかがヨガする日)



評価指標	参加者	主催者
みどりや水辺を感じる	47.5	81.5
体を動かせる	69.0	81.5
にぎわいを感じる	80.8	81.5

図3 身体性・関係性の評価指標における主催者と参加者との比較結果【%】(あなたとなにかがヨガする日)

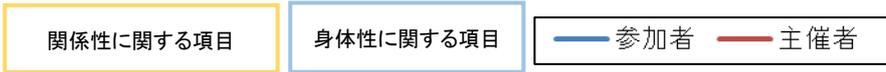
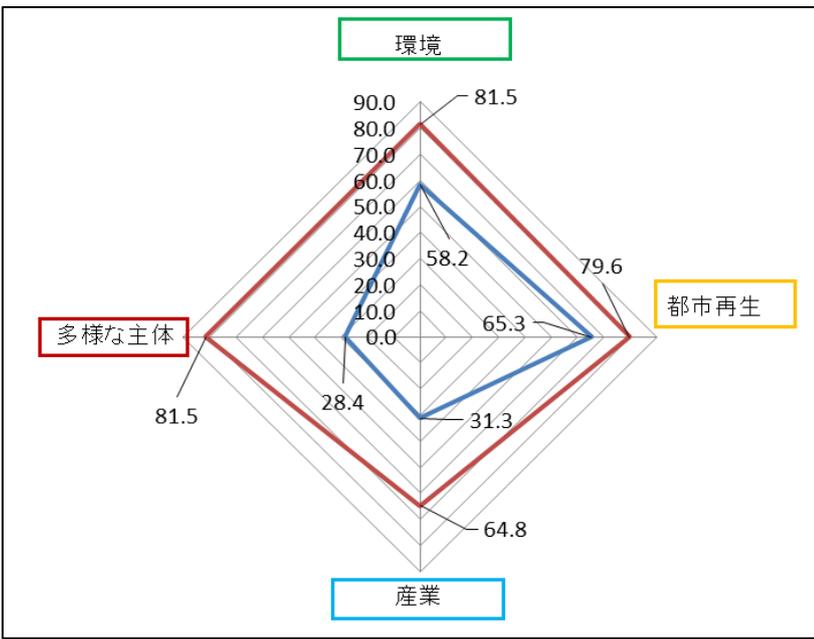


表9 比較結果内訳【%】
(あなたとなにかがヨガする日)



評価指標	参加者	主催者
環境	58.2	81.5
都市再生	79.6	79.6
産業	31.3	64.8
多様な主体	28.4	81.5

図4 尼崎 21世紀の森づくり行動計画の取組方針における主催者と参加者との比較結果【%】(あなたとなにかがヨガする日)

主催者による評価と改善点

【評価】

- ・主催者が参加者に感じて欲しい項目と参加者が感じた項目が概ね一致していることから、イベントのねらいや趣旨が伝わったものとするが、主催者の期待値が大きすぎた。
- ・参加者に感じてほしい項目を絞ってイベントを運営してもいいかもしれない。

【改善点】

- ・参加者が 2,000 人を超える大きなヨガイベントとして運営した。スタッフは運営にかかりきりであり、スタッフ自体がゆったりとした時間を過ごせず、また、参加者との交流を積極的に行うことも難しかった。

4) 森の自由研究フェス（主催者と参加者との回答結果の比較）

試行日	7月21日(日)		
場所	尼崎の森中央緑地	参加人数	2,000人
「森の感想シート」回答者数	40人	「森の期待シート」記入者数	6名:森の自由研究フェス実行委員会
主催	森の自由研究フェス実行委員会	共催	尼崎の森中央緑地パークセンター

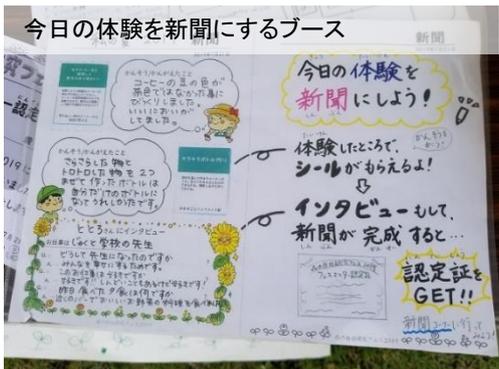
ちりめんモンsterを探そう



葉っぱでアート



今日の体験を新聞にするブース



ドキドキ色水でアートピクニック



昆虫を食べよう



手作り楽器をみんなで鳴らしてみよう



3Dプリンター体験



親子で学ぶ読書感想文のコツ



表10 参加者におけるアクティビティの点数等の内訳(森の自由研究フェス)

評価指標		割合(%)	合計点数	アクティビティ	点数
身体性	みどり(森)や水辺(運河、海)を感じる	53.3	192	・鳥や虫の声を聞いた	62
				・海のかおりがした	42
				・みどりや水辺の風景をゆっくり眺めた	88
	体を動かせる	66.7	240	・思いきりからだを動かして汗をかいた	66
				・遊んでいる子どもの声を聞いた	111
				・散歩やウォーキングをしている人を見た	63
	にぎわいを感じる	72.5	261	・演奏やパフォーマンスを見た	72
				・おそとでごはんを食べた	101
				・にぎやかさを心地よく感じた	88
	尼崎らしさを感じる	47.2	170	・尼崎にしかないものを見つけた	50
				・見たことのない景色を見た	60
				・尼崎で働いている人としゃべった	60
関係性	非日常がある	46.7	168	・自分だけの時間を楽しんだ	58
				・いっしょに手をたたいたり、おどったりした	22
				・食事やショッピングにお金を使った	88
	工業都市を感じる	39.7	143	・どんな会社があるのかわかった	40
				・どんなものが作られているのを知った	56
				・くらしや環境にかかわる技術を知った	47
	居場所やコミュニティがある	35.6	128	・ともだちができた	19
				・知り合いに出会った	36
				・知らない人と話した	73
	様々なチャレンジにつながる機会がある	34.2	123	・自分の得意なことを披露できた	22
				・まちのプロに何かを教えてもらった	47
				・ほめられたり共感されてうれしかった	54

表11 主催者におけるアクティビティの点数等の内訳(森の自由研究フェス)

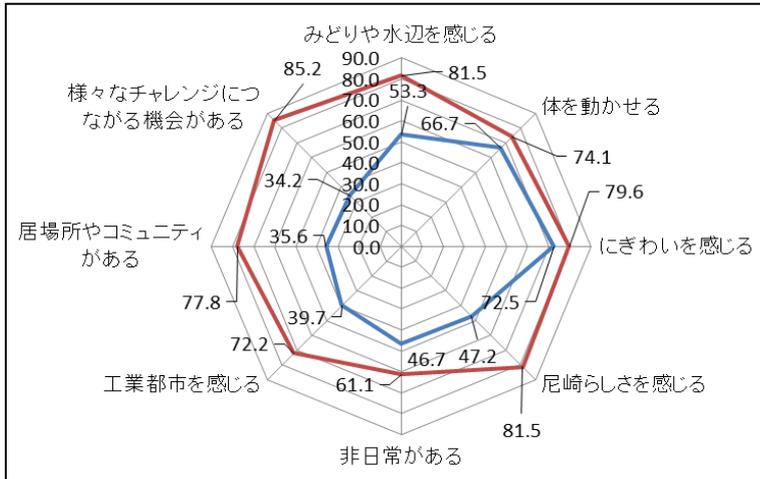
評価指標		割合(%)	合計点数	アクティビティ	点数
身体性	みどり(森)や水辺(運河、海)を感じる	81.5	44	・鳥や虫の声を聞いた	16
				・海のかおりがした	11
				・みどりや水辺の風景をゆっくり眺めた	17
	体を動かせる	74.1	40	・思いきりからだを動かして汗をかいた	15
				・遊んでいる子どもの声を聞いた	15
				・散歩やウォーキングをしている人を見た	10
	にぎわいを感じる	79.6	43	・演奏やパフォーマンスを見た	13
				・おそとでごはんを食べた	14
				・にぎやかさを心地よく感じた	16
	尼崎らしさを感じる	81.5	44	・尼崎にしかないものを見つけた	14
				・見たことのない景色を見た	13
				・尼崎で働いている人としゃべった	17
関係性	非日常がある	61.1	33	・自分だけの時間を楽しんだ	11
				・いっしょに手をたたいたり、おどったりした	12
				・食事やショッピングにお金を使った	10
	専門性・革新性がある	72.2	39	・どんな会社があるのかわかった	13
				・どんなものが作られているのを知った	12
				・くらしや環境にかかわる技術を知った	14
	居場所やコミュニティがある	77.8	42	・ともだちができた	14
				・知り合いに出会った	12
				・知らない人と話した	16
	機会がある	85.2	46	・自分の得意なことを披露できた	13
				・まちのプロに何かを教えてもらった	16
				・ほめられたり共感されてうれしかった	17

関係性に関する項目

身体性に関する項目

参加者 主催者

表12 比較結果内訳【%】
(森の自由研究フェス)



評価指標	参加者	主催者
みどりや水辺を感じる	53.3	81.5
体を動かせる	66.7	74.1
にぎわいを感じる	72.5	79.6

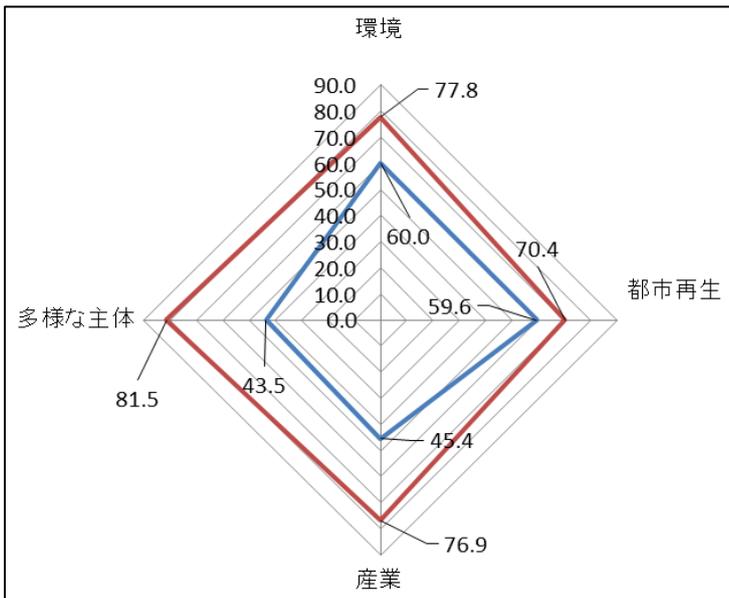
図5 身体性・関係性の評価指標における主催者と参加者との比較結果【%】(森の自由研究フェス)

関係性に関する項目

身体性に関する項目

参加者 主催者

表13 比較結果内訳【%】
(森の自由研究フェス)



評価指標	参加者	主催者
環境	60.0	77.8
都市再生	59.6	70.4
産業	45.4	76.9
多様な主体	43.5	81.5

図6 尼崎 21 世紀の森づくり行動計画の取組方針における主催者と参加者との比較結果【%】(森の自由研究フェス)

主催者による評価と改善点

【評価】

- ・主催者が参加者に感じて欲しい項目と参加者が感じた項目が概ね一致していることから、教育というテーマであればどんな出展でもOKという趣旨が伝わったものとするが、主催者の期待値が大きすぎた。
- ・ボランティアスタッフも不足する中での運営なので参加者に感じてほしい項目を絞って、出展を検討してもいいかもしれない。

【改善点】

- ・イベントを通じて取り組んだ子どもたちの自由研究の成果について、その後の学校での評価などを追跡調査し、その内容を広くPRできれば、今後継続的にイベントを開催するなかで、「様々なチャレンジにつながる機会」の評価がアップする可能性がある。